

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和4年 3月 1日

事業所名 しあわせ駅 山内

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5			スペースは十分あり、職員の配置を確認しながら支援を行っている。	
	2	職員の配置数は適切である		1	4		配置基準は満たしているものの、現状では、個別対応が必要な児童の利用が多い日は、基準以上の人数を確保する必要がある。今後、工夫を重ね、改善していきたい。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている			5	今のところ車椅子を使用する児童が居ないが、必要に応じて高さのあるところには台を置いたりするなどして対応している。	今後、改善していきたい。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	3	1	1	その都度、話し合いを行なうようにしている。	今後、さらに意識し行なっていきたい。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5			定期的に評価を実施し、ご意見を聞き、改善につなげている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	2	1	2	ホームページにて公開している。	今後、おたより等でもお知らせしていきたい。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	1	2		現在、検討中である。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	1		研修があれば、参加するよう努めている。今後も積極的に参加していきたい。	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	5			子どもや保護者のニーズを客観的に分析できるよう意識している。全職員で確認も行なっている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5			年数が経っている児童には新しいのを記入してもらっている。今後も継続していく。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	1		話し合いをし、決定している。今後も継続していきたい。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	2		出来る限り、固定化しないよう努めている。	今後は、子ども達の意見も聞くなど工夫を重ね、より改善していきたい。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	2		話し合いを行い、設定している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5			全職員で話し合い、意見を出し合って作成をしている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5			出来る限り行っている。今後も継続していく。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4		1	必ずしも当日に振り返りを行なうことはできていないが、翌日の朝礼に申し送りをするなど、出来る限り、情報共有するよう努めている。	今後も工夫して情報共有の時間を確保していきたい。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			記録は、徹底して行なっている。今後も継続していく。	
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5			定期的に行っている。相談員さんと保護者とのモニタリング後には、職員内で情報を共有し合っている。		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っている	4	1		ガイドラインを参考に活動プログラムを設定するよう努めている。		
20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5			該当児の状況に詳しいものが参加するよう努めている。		
21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	5			送迎時に確認するなど連絡調整はできている。		
22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	3			現在、該当児童なし。	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	3	1	1	モニタリング時などに情報共有は行なっている。	必要に応じて、もっと体制を整えていきたい。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1	2	2		該当する児童がいない。 今後、該当児童がいれば、必要に応じて、情報を提供していく。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	3	1		今後、研修の機会があれば積極的に参加していきたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	1	1	3		今年はコロナで出来なかった。 落ちついてきたら、検討していく。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	2	1	2		参加できるよう努めていく。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5			主に送迎時に行なっている。 連絡帳やお電話等も活用し 共通理解をもつよう心がけている。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	2	2		今後、職員も勉強して保護者様にも支援できるようにしていきたい。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4		1	契約時に丁寧な説明を行うよう心がけている。	今後、わかりやすく説明できるよう、より意識していきたい。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5			保護者から相談があればできる限りの対応を行なっている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1		4		今年もコロナの影響があり、出来なかった。 コロナ終息後に検討していきたい。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	5			苦情等あれば、すぐに対応するよう努めている。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	1	1	発信するよう努めている。	今後、より充実させていきたい。
	35	個人情報に十分注意している	5			シュレッダー等を用い、個人情報には十分気を付けている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5				今後も継続していく。
37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	1	3		今年もできなかった。 コロナ終息後に検討していきたい。	
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4		1		マニュアルは作成しているが、 今後は、新しい職員や保護者への周知も徹底していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5				今後も定期的に避難訓練を実施していく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5			研修機会は確保するよう努めている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	4	1		その際は、保護者の同意も取りながら行っていた。	その都度確認し、やむを得ない時には、保護者とも話を重ねていき検討していき支援していく。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	2	3			現状、内容に該当する児童がいないが徹底して準備を行ってきたい。
43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5			都度、報告書を作成している。	ヒヤリハット事例集は現在、作成中である。	